

令和2年1月12日  
 東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題 松江管内で16番目の農事組合法人「にこにこファーム新庄」が誕生

(ダイジェスト)

令和2年1月12日、松江市で16番目の集落営農法人となる「農事組合法人 にこにこファーム新庄」の設立総会が開催されました。

圃場整備事業の担い手としての新規農事組合法人の設立は、松江市内では初めてのケースであり、今後、湖北地区で計画されている他地区にとっては、先駆け事例として、営農や地域貢献が期待されています。

1月12日、農事組合法人 にこにこファーム新庄（津森邦夫代表理事、構成員100名）の設立総会が、本庄町新庄集会所で組員57名、関係機関からの来賓の出席のもと開催されました。

松江市本庄町新庄地区は、中海の東岸に位置し、松江市へは車で数十分という立地条件にありながら、圃場整備が未実施で、遊休地も散在する地域であり、構成員も同居世帯が多いものの農業の担い手は60代後半と高齢化が進んだ地域です。

このままでは、益々、農地が荒廃していくという危機感から6年前に新庄地区圃場整備委員会が設置され、平成30年に全国で最初の農地中間管理機構関連農地整備事業の採択を受けました。今春より法人としての営農が始まりますが、今日に至るまで話し合いを主導した発起人の役員の方々の熱意の賜です。

初年度は、構成員の所有機械での農作業から出発しますが、当普及部としても経営改善計画の策定、着実な営農の確立に向けて支援していくこととしています。



発起人からの事業計画説明



多くの構成員の出席